

推進項目別個票編

平成27年度の取組結果

袖ヶ浦市行政経営計画

[第6次行政改革大綱]

(平成27年度～平成31年度)

平成28年8月

袖ヶ浦市

《 推進項目別個票『〇取り組みの実績』 》 の見方

整理No.

推進項目個票

〇取り組みの実績

実施効果(数値等)							
目標効果	当初	「取組の内容」における目標効果(数値等)と同じものを表します。					
	修正	修正年度 (年度)	理由 内容	当初(上段)の内容に修正が発生した場合のみ、その理由及び内容を表します。			
実施効果額等		取組における効果額等を表します。					
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費							0
(B)削減経費							0
(C)歳入増加額							0
実施スケジュール【Plan(計画)】							
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標達成状況
当初計画		△	△	△	△	◇	
修正(年度)							
実績							
進捗状況							

当初計画に対して活動内容がどうだったかを表します。 ※1

目標効果に対する、その実施状況を表します。
 △ 検討、◇方針決定、□ 準備、
 ○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、
 ⇒ 継続

当初計画について修正があったものを表します。

改革の目標効果が達成されたかを表します。 ※2

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】

27年度	なにをしたか(取組状況)	年度別の取組に係る具体的な活動内容等を表します。 ※3
	なにが変わったか(取組による効果)	
	今後どうするか(問題点及び今後の方向性等)	
⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮

※1 進捗状況

当初計画に対して活動内容がどうだったかを表します。

表示される項目	内容
予定どおり	予定どおり活動できたことを表します。
予定以上	予定よりも早く活動が進んだことを表します。
予定未満	予定よりも活動が遅れていることを表します。
内容見直し	改革案を見直すことを表します。
手段見直し	改革案の取組み内容を見直すことを表します。
実施時期見直し	改革案の実施時期を見直すことを表します。
取り止め	改革案の実施を取り止めることを表します。

※2 目標達成状況

改革の目標効果が達成されたかを表します。

表示される項目	内容
H〇〇年度達成	改革実施後、目標を達成した状態を表します。
推進	改革実施後、引き続き改革の推進に取り組んでいる状態を表します。

※単年度において、検討から達成まで至った場合は「H〇〇年度達成」と表記し、その年度末時点における状況を表します。

<例> 検討⇒準備⇒実施⇒達成 「達成」と表記

※3 活動実績と今後

年度別の取組に係る具体的な活動内容等を表します。

項目	内容
なにをしたか (取組状況)	具体的にどのような活動をしたのかを表します。
なにが変わったか (取組による効果)	活動することによって何がどのような状態になったのかを表します。
今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	改革の一層の推進に向けて今後どのように取り組んでいくのかを表します。

第6次実施項目一覧

Ⅰ 市民の視点に立った行政経営

1 市民サービスの向上

1 窓口業務の充実

- 1 窓口対応の向上
- 2 住民票等証明のコンビニ交付の検討
- 3 個人番号カードの利用拡大の検討

2 幼稚園と保育所の連携

- 4 幼稚園と保育所の連携の推進

2 民間活力の積極的な活用

3 指定管理者制度の活用

- 5 指定管理者制度の活用

4 PFI事業の活用検討

- 6 PFI事業の活用検討

3 市政情報の発信・電子自治体の推進

5 広報・広聴の充実

- 7 広報・ホームページ等の充実
- 8 多様な対話の機会の確保
- 9 出前講座の推進

6 情報化推進計画の推進

- 10 情報化推進計画の策定
- 11 情報セキュリティ対策の強化

4 市民協働の推進

7 市政への市民参画の推進

- 12 パブリックコメントの活用
- 13 審議会等への市民参加の推進
- 14 市民協働の充実

8 市民活動の促進

- 15 市民・地域と結ばれた博物館活動の推進
- 16 自治会（区等）活動の活性化

Ⅱ 機能的な執行体制づくり

1 組織・施策マネジメントの強化

9 政策会議の効果的機能の発揮

- 17 政策会議の効果的機能の発揮

10 施策マネジメントの強化

- 18 行政評価システムの改善・活用

2 行政組織機構の見直し

11 組織の見直し

- 19 組織の見直し
- 20 常備消防組織の広域化

3 組織の活性化と職員の資質の向上

12 組織の活性化と職員の資質の向上

- 21 人事評価と人材育成の充実
- 22 職員表彰制度の活用
- 23 職員提案制度の活用

Ⅲ 安定した行財政運営の確立

1 財政状況の公表

13 財政状況の公表

- 24 財政状況の公表

2 歳入の確保及び受益者負担の適正化

14 市税の確保

- 25 市税の確保
- 26 企業誘致と設備投資の促進

15 資産の有効活用

- 27 未利用市有財産の活用
- 28 公有財産（物品）の有効活用

16 受益者負担の適正化

- 29 受益者負担の適正化

17 財源の確保

- 30 市有物件等への広告掲載の推進

3 事務事業等の簡素・合理化による歳出の適正化

18 事務事業の見直し

- 31 投票区・投票所の見直し
- 32 図書館サービス体制の見直し
- 33 公用車の効率的な運用

19 補助金、負担金等の見直し

- 34 補助金・負担金等の見直し

20 公共施設の維持管理等の見直し

- 35 公民館の有効活用の検討
- 36 学校施設の有効活用の検討
- 37 公共施設（地区会館）の移管
指定管理者制度の活用（再掲）

21 特別会計への繰出金の抑制

- 38 国民健康保険特別会計の健全化
公共下水道事業の経営健全化（「Ⅲ地方公営企業等について」に掲載）
農業集落排水事業の経営健全化（「Ⅲ地方公営企業等について」に掲載）

22 公共工事コストの見直し

- 39 袖ヶ浦市公共工事コスト縮減行動計画の推進

23 入札制度の見直し

- 40 入札制度の見直し

4 職員の定員管理と人件費の抑制

24 定員管理の適正化と人件費の抑制

- 41 定員管理の適正化
- 42 給与等の適正化

Ⅳ 地方公営企業等

1 水道事業

25 水道事業の経営健全化

- 43 維持管理費の縮減
- 44 有収率の向上
- 45 使用料金の適正化
- 46 一般会計からの繰入金金の抑制

2 公共下水道事業

26 公共下水道事業の経営健全化

- 47 維持管理費の縮減
- 48 水洗化率の向上
- 49 使用料金の適正化
- 50 一般会計からの繰入金金の抑制

3 農業集落排水事業

27 農業集落排水事業の経営健全化

- 51 維持管理費の縮減
- 52 水洗化率の向上
- 53 使用料金の適正化
- 54 一般会計からの繰入金金の抑制

4 土地開発公社

28 土地開発公社の経営健全化

- 55 土地開発公社の経営健全化

推進項目別個票

○取り組みの実績

「窓口対応の向上」

整理No.

1

内容・目標						
当初	来庁する市民が快適にサービスを受けられるように接客・マナーと執務環境等の向上を図る。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	△	△○	△○	◇□◎	⇒	
修正(年度)						
実績	△○					
進捗状況	予定以上					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	職員の接客やマナーについては、新規採用職員や採用から5年を経過した職員に対して研修を実施し、その向上に努めてきた。また、民間企業が実施するビジネスマナー研修に、採用から2年を経過した職員を試行的に派遣した。
	なにが変わったか (取組による効果)	近隣市も活用する研修であり、参加した職員からも好評であったことから、その有効性が確認できた。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	今回試行的に受講した研修については、今後も経験年数に関係なく、多くの職員を派遣できるよう、派遣方法や実施内容を検討する。また、職員全体に対して定期的な接客研修の機会を与え、更なる向上を図るよう、研修計画を策定する。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「住民票等証明のコンビニ交付の検討」

整理No.

2

内容・目標						
当初	証明のコンビニ交付の実施には、システム改修、毎年の委託費等多額の経費が掛かる。また、コンビニ交付のためには住基カード(平成28年1月からは個人番号カード)が必要となることから、カードの普及状況等を見ながら実施の可否を検討する。					
修正	修正年度 (年度)	理由				
		内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	△	△	◇			
修正(年度)						
実績	△					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	導入に際し、クラウドについても検討する必要があるため、セミナーに参加。また、コンビニ交付のための証明書交付センターを運営する、地方公共団体情報システム機構のセミナーにも参加し、情報収集に努めた。
	なにが変わったか (取組による効果)	情報収集を行ったところ、クラウド化に関する事など調査検討が必要であることが判明した。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	コンビニ交付実施のためにはシステム改修や多くの手続きが必要となるので、引き続き情報収集等に努める。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「個人番号カードの利用拡大の検討」

整理No.

3

内容・目標						
当初	マイナンバー制度の開始に伴い、個人番号カードについて市独自の利用をすることにより、効率的な行政事務が実現できるか検討する。また、現在市が行っている申請等でマイナンバーを利用することにより添付書類の省略ができるように改善する。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	□○	◎	⇒	⇒	⇒	
修正(年度)						
実績	□○					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇ 方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未滿、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	マイナンバー制度が平成28年1月から本施行となることから、関係例規の整備やシステム対応を行って、社会保障、税等の分野における各マイナンバー利用事務においてマイナンバーの利用を開始した。また、マイナンバーカードの利用拡大の前提となるカードの交付を開始した。
	なにが変わったか (取組による効果)	法令に定められた社会保障、税等の分野におけるマイナンバー利用事務においてマイナンバーの利用を開始したが、行政機関同士でマイナンバーをキーとして必要情報をやり取りする情報提供ネットワークシステムの地方公共団体での利用開始が平成29年7月からの予定のため、効果が現れるのは今後である。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	マイナンバーカードは、申請者に対し順次交付している。今後も申請者に対し、遅滞が生じないように交付を継続するとともに、マイナンバーカードの本市独自利用方策について関係課等による組織を立ち上げ検討を進める。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「幼稚園と保育所の連携の推進」

整理No.

4

内容・目標						
当初	幼保連携を推進し、就学前の子どもに対する望ましい教育・保育施設の確保並びに子育て支援の充実を目指す。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	△◇	□	□	□	□	
修正(年度)						
実績	△◇					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇ 方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	子ども・子育て支援会議、教育委員会議及び総合教育会議において、幼児教育・保育の取組みについて検討を行い、取組みの方向性を決定した。
	なにが変わったか (取組による効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・市立幼稚園を1幼稚園体制とし中川幼稚園を有効活用した幼児教育の継続を図ることとした。 ・昭和地区での認定こども園による保育の量的拡充及び多様な保育サービスの提供を図ることとした。 ・市立幼稚園・保育所共通の幼児教育カリキュラムの作成に取り組むこととした。
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・今井幼稚園と中川幼稚園の統合について、保護者、市民等への周知を図る。 ・認定こども園の誘致手続を進め、平成30年4月の開設を目指す。 ・市立幼稚園・保育所共通の幼児教育カリキュラムの作成に取り組む。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「指定管理者制度の活用」

整理No.

5

内容・目標						
当初	公の施設において、民間の持つノウハウを活用し、効果的かつ効率的な施設運営を図るため、各施設の設置目的や事業内容、利用状況などを勘案し、指定管理者制度の活用を推進する。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	推進
修正(年度)						
実績	⇒					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇ 方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未済、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	平成27年度末で指定期間満了となる8施設(代宿児童館・長浦第1、第2放課後児童クラブ・袖ヶ浦公園・百目木公園・新堰公園・百目木公園プール・市駐車場及び自転車駐車場等・総合運動場等)の新たな指定管理者候補を選定した。
	なにが変わったか (取組による効果)	民間の持つノウハウを活用することで、直営で行うよりも効率的かつ効果的な施設運営が図られた。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	指定管理者制度未導入施設に対し、引き続き新たな適用の検討を行う。また、平成28年度末で指定期間満了となる1施設(農畜産物直売所)の指定管理者候補を選定する。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「PFI事業の活用検討」

整理No.

6

内容・目標						
当初	「袖ヶ浦市PFI活用ガイドライン」に基づき、PFI事業の活用を検討する。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	推進
修正(年度)						
実績	⇒					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	袖ヶ浦市PFI活用ガイドラインに基づき、PFI事業の活用を検討した。
	なにが変わったか (取組による効果)	民間の資金、経営上のノウハウ及び技術的能力の活用を図るPFI事業を選択肢に追加することで、より効果的かつ効率的な公共施設の建設、維持管理及び運営が行えるようになる。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	国・県等からの情報提供や他の自治体の制度活用の手法等を参考とし、事業採択の可能性について検討していく。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「広報・ホームページ等の充実」

整理No.

7

内容・目標						
当初	市政への理解を得るため、市政情報の発信の充実に努める。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	◎	⇒	⇒	⇒	⇒	H27年度達成
修正(年度)						
実績	◎					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇ 方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	広報紙は、分かりやすい表現・紙面づくりや、適時・的確な情報の掲載に努めた。また、より多くの方に読んでもらうため、無料アプリ「i広報紙」によりスマートフォンやタブレットへの配信を開始した。ホームページは、更なる情報発信の充実とアクセシビリティに配慮したより見やすい内容となるように努めた。また、新たにツイッターとユーチューブを活用した情報発信を開始し、ツイッター391件、ユーチューブ動画30件を配信した。
	なにが変わったか (取組による効果)	広報紙は、わかりやすい紙面づくりや積極的な情報発信を行うことができた。また、「i広報紙」の登録者数は、3月末時点で319件あった。ホームページは、1年間で約367,000件のアクセスがあった。また、ユーチューブ動画30件の合計再生回数は、4,087回であった。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	広報紙は、わかりやすい情報の発信に引き続き努める。また、ホームページやソーシャルメディアを活用した更なる情報発信力の強化を図る。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「多様な対話の機会の確保」

整理No.

8

内容・目標			
当初	多様な対話機会を設けることにより、広く市民の意見を聴き、市政に反映させることで、市民参加のまちづくりを推進する。		
修正	修正年度 (年度)	理由 内容	

実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	推進
修正(年度)						
実績	⇒					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	5団体80名の市民と市長が直接意見交換を行った。
	なにが変わったか (取組による効果)	市民の意見を広く聴くことで、市政への市民参画が推進できた。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	今年度の実施回数は、昨年度と同数であったが、参加者数については過去3年を下回った。今後も多くの団体・市民と意見交換ができるよう、広報紙や市ホームページで市民の積極的な参加を呼びかけるとともに、各種団体や市民グループに直接参加を働きかけていく。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「出前講座の推進」

整理No.

9

内容・目標						
当初	市民の市政への参画を進める第1歩として、市政についての理解を深めてもらうために出前講座の推進を図る。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	△□◎	⇒	⇒	⇒	⇒	H27年度達成
修正(年度)						
実績	△□◎					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	広報そでがうら及びホームページへの掲載と、かずさFM「そでがうらタウン情報」での放送により、講座の概要、メニュー等について周知し、11講座で延べ106回開催した。
	なにが変わったか (取組による効果)	身近な問題として関心が高い講座(救急・救命、防災・防犯など)の開催により、参加者の知識・技能の習得を進めることができた。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	市政に関する内容の講座について関心を持ってもらえるような工夫ができないか、他市の事例を参考にしながら検討する。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「情報化推進計画の策定」

整理No.

10

内容・目標						
当初	行政の効率化を図るため、業務とシステムの最適化を検討し、市民満足度の高い情報システムの構築を目指す。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	△	◎	⇒	⇒	⇒	
修正(年度)						
実績	△					
進捗状況	予定未滿					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未滿、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	(仮称)情報化推進計画2016の策定に向け、各課調査等を実施した。ただし、計画の策定に至らなかったため、進捗状況が予定未滿となった。
	なにが変わったか (取組による効果)	実効性の高い明確な目標を立てた計画を策定するための情報の整理が図れた。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	(仮称)情報化推進計画2016の策定、及び計画の推進。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「情報セキュリティ対策の強化」

整理No.

11

内容・目標						
当初	市民の個人情報や行政情報を保護するための対策を強化し、情報セキュリティ対策の向上を図る。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	推進
修正(年度)						
実績	⇒					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	情報セキュリティ内部監査を6部署実施し、その他の部署にはセルフチェックシートによるチェックを実施した。情報セキュリティ研修(eラーニング)を情報化推進リーダー及び一般職員に対して実施した。番号法に対応するため、情報セキュリティポリシーの改正を行った。
	なにが変わったか (取組による効果)	個人情報及びマイナンバーを取り扱う職員の情報セキュリティ意識の維持、向上が図られた。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	内部監査については、計画的に推進していく。研修については、引き続きeラーニングを主体とした研修を継続する。国の求めるセキュリティ水準を満たすため、必要なセキュリティ機器の整備を実施していく。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「パブリックコメントの活用」

整理No.

12

内容・目標						
当初	パブリックコメントの実施方法・活用策について検討を進める。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	△	◎	⇒	⇒	⇒	
修正(年度)						
実績	△					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	制度検討委員会を行い運用方法の見直しを検討した。平成27年度実施件数12件。(条例3件、計画9件)
	なにが変わったか (取組による効果)	公表内容が市民に分かりやすく、意見を提出しやすくするための資料作成や運用方法など協議を進めた。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	制度の効果的な運用を図るため、公表用資料の作成方法や運用方法のマニュアルを作成する。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「審議会等への市民参加の推進」

整理No.

13

内容・目標						
当初	市の政策・方針決定に重要な役割を果たす審議会等の委員の選任に際し、女性登用率の拡大と委員公募の推進を図る。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	推進
修正(年度)						
実績	⇒					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇ 方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	審議会等における女性委員の登用・公募の推進を通知等で促した。
	なにが変わったか (取組による効果)	審議会等における女性委員の登用率は、3月末時点で31.3%であった。公募率については全体の6.9%であった。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	女性登用率35%の目標を達成するため、委員の改選時に公募枠を拡大し、女性の登用を推進するよう配慮する。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「市民協働の充実」

整理No.

14

内容・目標						
当初	市民と行政の協働によるまちづくりを推進するための具体的な事業について、その充実に努めていく。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	◎	⇒	⇒	⇒	⇒	H27年度達成
修正(年度)						
実績	◎					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	協働事業提案制度は、制度の運用及び制度(提案資格・補助率等)の見直しを行った。市民活動情報サイトは、団体等に対して定期的な記事更新の呼び掛けを行った。市政講座は、市政の各分野をテーマに「まちづくり講座(基礎講座)」(開催数6回、参加者87名)として本格的な運用を開始した。
	なにが変わったか (取組による効果)	協働事業提案制度及び市民活動情報サイトの運用により、協働のまちづくりと市民活動の活性化を促進することができた。まちづくり講座の開設により、本市の現状や課題を知ってもらうことで、地域活性化を担う人材の育成を進めることができた。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	協働事業提案制度及び市民活動情報サイトについては、引き続き事業の充実と活性化に取り組む。市政講座については、具体的な人材育成に向けてステップアップ講座の開設に取り組む。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「市民・地域と結ばれた博物館活動の推進」

整理No.

15

内容・目標						
当初	これまで博物館に蓄積されてきた資料・情報などの資源や市内の様々な事象に対し、市民学芸員(市民)と協働で調査・研究等を行うことで、市民学芸員(市民)の活動を活性化させるとともに、そこから得られる成果を、博物館活動を推進していく上で生かし、地域に還元する。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	△□◎	⇒	⇒	⇒	⇒	H27年度達成
修正(年度)						
実績	△□◎					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇ 方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27 年度	なにをしたか (取組状況)	市民学芸員の自主的な活動の支援を行った。市民学芸員希望者に学芸員資格取得のための博物館実習の講義を受講していただき、新たに2名を市民学芸員として認定した。 常設展示については、部分的な更新に関する協議を行い、一部の展示更新を実施した。
	なにが変わったか (取組による効果)	市民学芸員の自主的な活動が活発になった。また、博物館事業への協力もより積極的になった。 展示の部分更新を実施したことが、博物館来館者(リピーター)の増加につながったものと思われる。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	市民学芸員希望者の随時受け入れを行う。 常設展示の更新を計画的に進める。
28 年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29 年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30 年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31 年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「自治会(区等)活動の活性化」

整理No.

16

内容・目標						
当初	市内5地区の自治連絡会を対象として、地域の繋がりの強化と活性化を図るための事業を企画、実施した場合に補助金を交付する。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費	366					366
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	◎	⇒	⇒	⇒	⇒	H27年度達成
修正(年度)						
実績	◎					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	自治連絡協議会理事会において、各地区の会長等に対し制度を説明して周知を図るとともに、実施事業の有無の把握に努め、申請のあった1地区に補助金を交付した。また、次年度に向けて制度をより利用しやすくするため、補助対象及び補助率の見直しを行った。
	なにが変わったか (取組による効果)	支援を行ったことにより地区内における活性化を図ることができた。また、補助対象の拡大と補助率の引上げにより、平成28年度以降の制度利用の活性化が見込まれる。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	引き続き申請のあった地区に対し支援を行うとともに、市内の全地区において制度を活用し、地域の活性化につなげられるように周知を図る。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「政策会議の効果的機能の発揮」

整理No.

17

内容・目標						
当初	政策会議において、市の方針及び重要施策等について、十分な審議・検討を行いトップマネジメントを補助し、また各部局間の総合調整・連絡調整を密に図り効率的な行政運営に努める。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	推進
修正(年度)						
実績	⇒					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇ 方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	政策会議において、市の重要施策等の審議及び主要課題の報告を行った。付議件数125件。
	なにが変わったか (取組による効果)	全庁的な共通認識が図れ、行政運営を円滑に行えた。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	政策会議等において、市の重要施策等の内容を十分に精査し、庁内の共通認識を図り、行政運営を行う。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「行政評価システムの改善・活用」

整理No. 18

内容・目標

当初	総合計画に位置付けられた施策の実効性等を検証する施策評価と事業の成果や有効性等を検証する事務事業評価を一連のシステムとして構築する。また財務会計システムと連動させ、評価結果を予算編成に反映できるようなPDCAサイクルを確立する。		
修正	修正年度 (年度)	理由 内容	

実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	△	□	◎	⇒	⇒	
修正(年度)						
実績	△					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇ 方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)
 ※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】

27 年度	なにをしたか (取組状況)	財務会計システムと連携した行政評価システムの導入準備を行った。
	なにが変わったか (取組による効果)	財務会計システムと連携した行政評価システムの平成29年度からの本格導入が可能となる。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	平成29年度からの本格導入に備え、平成28年度中に行政評価に関するマニュアル等を策定する。
28 年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29 年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30 年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31 年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

「組織の見直し」

○取り組みの実績

整理No.

19

内容・目標						
当初	国、県の動向を注視し、市政を取り巻く社会情勢に即応し、市民の利便性が高く、スリムで効率的な執行体制の実現を目指し、適宜組織の見直しを進める。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	推進
修正(年度)						
実績	⇒					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	都市建設部下水対策課について、農業集落排水事業の管渠等整備工事が平成27年度で概ね終了するため、平成28年度から集落排水班を廃止する見直しを行った。
	なにが変わったか (取組による効果)	下水対策課の班を整理統合することで効率的な執行体制となった。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	社会情勢や行政需要の変化に応じて適宜、組織を見直すことにより、スリムで効率的な執行体制の構築を目指す。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「常備消防組織の広域化」

整理No.

20

内容・目標						
当初	国、県の動向を注視し、市政を取り巻く社会情勢に即応し、市民の利便性が高く、スリムで効果的な執行体制の実現を目指し、組織の見直しを進める。					
修正	修正年度 (年度)	理由				
		内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	△	△	△	△	△	
修正(年度)						
実績	△					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	平成28年2月に、君津地区消防長会(木更津・君津・富津・袖ヶ浦)にて、千葉県消防広域化担当者同席の下、消防広域化意見交換会を実施した。
	なにが変わったか (取組による効果)	県は、50人以下の小規模消防本部の統合を重点対策とし、次段階として人口10万人以下で広域化の機運が高い地域を重点地域としているが、県として主導的な推進は困難との姿勢を崩していない。
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	ちば消防共同指令センター運用により出動体制の広域化は確立されており広域化のメリットが希薄となっているが、災害の多様化・大規模化に向けた高度資機材整備等の課題もあり、これからも近隣市の動向を注視し広域化を検討課題としていく。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「人事評価と人材育成の充実」

整理No.

21

内容・目標						
当初	平成26年度の地方公務員法改正の趣旨に則り、新たな人事評価制度を構築、活用することで、職員の人材育成及び能力の向上を図る。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	△	□○	□○	□○	◎	
修正(年度)						
実績	△					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	人事評価や人材育成に係る基本的な方向性を示した人材育成方針を作成した。
	なにが変わったか (取組による効果)	作成した人材育成方針を基本とし、現行制度の見直しや新たな人事制度を構築するための検討を進めることができる。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	今後は新たな人事評価制度の構築や、人材育成に係る効果的な研修を実施するため、人材育成方針に則した検討を実施していく。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「職員表彰制度の活用」

整理No.

22

内容・目標						
当初	職務に精励し、顕著な功績があった者を表彰し、その功績をたたえとともに、他の職員に刺激を与え職員全体の勤労意欲の向上を図り、組織の効率的な運営に役立たせる。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	△	△□	○	○	◎	
修正(年度)						
実績	△					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	例規などから近隣市の表彰制度の調査を行った。
	なにが変わったか (取組による効果)	近隣市の状況を把握することができた。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	今後も調査検討を継続するとともに、新たな人事評価制度との連携等も検討していく。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「職員提案制度の活用」

整理No.

23

内容・目標			
当初	市が直面する課題に関する解決策、業務に関する改善案等を提案する場としての職員提案制度を活用し、個々の職員や組織が常に議論し、アイデアを出し合う職場づくりを推進する。		
修正	修正年度 (年度)	理由	
		内容	

実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	推進
修正(年度)						
実績	⇒					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	「袖ヶ浦市職員の提案等に関する実施要綱」に基づき、職員提案制度の運用を実施した。
	なにが変わったか (取組による効果)	一般提案10件、課題提案2件、計12件の提案があった。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	実施要綱に従い職員提案制度を運用しながら、今後の状況に応じた制度の改善に取り組む。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「財政状況の公表」

整理No.

24

内容・目標						
当初	平成28年度決算から国の新基準に基づいた財務4表(貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書)を作成し、公表する。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費	15,120					15,120
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	□	□	◎	⇒	⇒	
修正(年度)						
実績	□					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇ 方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	平成28年度決算分から対応する新基準財務諸表を作成するための準備として、固定資産台帳の整備及び新財務会計システムと連携した資産管理システムを構築した。
	なにが変わったか (取組による効果)	新地方公会計制度に基づく財務諸表の作成、公表によって、市財政状況の透明性向上、市民に対する説明責任の履行に資することができる。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	平成26年度分財務諸表の完成・公表に向けて、作業を進める。また、新基準財務諸表を作成するために導入するソフトウェアの選定を行う。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「市税の確保」

整理No.

25

内容・目標						
当初	住民税及び固定資産税(償却資産)の未申告者の解消に努めるとともに、公平かつ適正な課税に努め、市税収入を確保していく。市税等の収納率向上に取り組み、市税の確保と税負担の公平性の確保を図る。市税収納率96%の確保を目標にする。					
修正	修正年度	理由				
	(年度)	内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	推進
修正(年度)						
実績	⇒					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇ 方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	個人市民税の未申告指導:対象件数1,004名 申告者433名 5,799,200円調定 法人市民税の未申告指導:対象件数36法人 申告者3法人 231,800円調定 固定資産税(償却資産)の未申告指導:「広報そでがうら」に未申告指導掲載(9/1号) 滞納整理では、財産調査の早期着手や債権・不動産の差押、不動産公売を行うとともに、搜索や車両の差押を開始するなど、滞納処分の強化に努めた。
	なにが変わったか (取組による効果)	未申告指導により、課税客体の把握及び適正な賦課ができた。また、滞納整理により滞納額の減少が図れ、税負担の公平性も確保できた。 市税収納率 平成23年度95.15%、平成24年度95.75%、平成25年度95.67%、平成26年度95.67%、平成27年度95.96%
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	これまでの取り組みをさらに強化するとともに、搜索、車両・動産等の差押、インターネット公売等による換価を進め、市税の確保及び税負担の公平性の確保、徴収率の向上を目指す。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「企業誘致と設備投資の促進」

整理No.

26

内容・目標						
当初	新たな企業誘致や、既存立地企業の設備投資を促進するため、企業振興条例等による助成制度を活用し、企業に対し側面的支援を行い、本市の産業振興と雇用機会の拡大を図り、市税収入の維持・増加を目指す。					
修正	修正年度 (年度)	理由				
		内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費	213,869					213,869
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額	428,174					428,174

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	推進
修正(年度)						
実績	⇒					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	袖ヶ浦市工場連絡会の会議等においてリーフレットを配布するなど、概要を説明、周知。
	なにが変わったか (取組による効果)	既存立地企業の設備投資を促進し、5件の事業者の指定決定を行った。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	市内のみならず、県外に向けた更なる制度のPRを行うことで、新たな企業誘致、既存立地企業の設備投資を促進する。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「未利用市有財産の活用」

整理No.

27

内容・目標						
当初	未利用となっている公有用地について、売却や貸付を積極的に行うことにより、維持管理経費を削減するとともに、売却・貸付収入により市の財源確保を図る。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費	675					675
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	推進
修正(年度)						
実績	⇒					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	南袖の普通財産16,528㎡を民間企業へ長期貸付するため、定期借地権設定契約締結の準備を進めた。普通財産譲渡願のあった土地の売却に向け不動産鑑定等を実施した。
	なにが変わったか (取組による効果)	次年度に契約締結し、貸付料収入を得る予定となった。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	公有財産利活用方針により売却が可能な財産については積極的に処分を進めるとともに、売却条件が整っていないものは、速やかに条件整備を進め効率的に処分を進める。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「公有財産(物品)の有効活用」

整理No.

28

内容・目標						
当初	不用物品の売却や、備品の一元管理による共用化など、備品物品の有効活用を図り、経費削減及び歳入増加を図る。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額	4,087					4,087

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	△◇○	◇◎	⇒	⇒	⇒	
修正(年度)						
実績	△◇○					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	インターネット公有財産売却システムにより、公用車4台(消防車、バス2台、軽自動車)、不用物品3件(蘇生訓練シミュレーター、潜水用具、防護マスク)を売却した。
	なにが変わったか (取組による効果)	売却収入4,087千円を得ることができた。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	売却する物品の基準等の方針を定め、売却できる不用物品の処分をより徹底していく。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「受益者負担の適正化」

整理No.

29

内容・目標						
当初	負担の公平確保や受益者負担の原則に則り定期的に使用料等を見直し、受益者負担の適正化に努める。					
修正	修正年度	理由				
	(27年度)	内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額	8,609					8,609

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	推進
修正(27年度)						
実績	⇒					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇ 方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27 年度	なにをしたか (取組状況)	「持続可能な財政構造確立のための集中的取組み」に基づき、健康づくり支援センター使用料、ホームヘルパー利用料、市内小中学校体育施設使用料の見直し等を実施した。また、本取組みについて、本取組みの策定後、2年が経過したことから、これまでの取組項目の検証及び取組期間終了までの方針をまとめた中間報告書を作成し公表した。
	なにが変わったか (取組による効果)	「持続可能な財政構造確立のための集中的取組み」に掲げた各取組項目について、見直しをすることにより、受益者負担の適正化を図ることができた。
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	「持続可能な財政構造確立のための集中的取組み」に掲げた各取組項目について、取組期間終了までの間、実績調査を行い検証する。また、本取組みについては、取組期間終了後に総合評価を行うとともに、「使用料・手数料及び分担金の見直しに関する基本方針」に基づく、見直し時期や方法等について検討する。
28 年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	
29 年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	
30 年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	
31 年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「市有物件等への広告掲載の推進」

整理No.

30

内容・目標						
当初	広告媒体として活用できる市有財産への広告掲載等により、新たな自主財源の積極的な確保を図る。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額	172					172

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	推進
修正(年度)						
実績	⇒					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	広報紙、ホームページ上でバナー広告掲載の募集を実施するとともに、既掲載事業者に継続の案内を行った。
	なにが変わったか (取組による効果)	バナー広告掲載の7枠が継続掲載、1枠が新規掲載となったほか、半年間の掲載が2件あった。また、バスターミナル待合所・健康づくり支援センター・臨海スポーツセンター内にある掲示板、庁舎1階市内案内板への広告掲載依頼があった。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	バナー広告掲載による自主財源の確保ができるように、掲載者に継続依頼をするとともに、広報紙、ホームページ上で継続的にPRを行い、新規の事業者を募集する。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「投票区・投票所の見直し」

整理No.

31

内容・目標						
当初	投票区・投票所の再編・統合を検討し経費の削減を図る。 投票所のバリアフリー化を推進する。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	△	△	△	△	△	
修正(年度)						
実績	△					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	・投票区の見直しは投票率低下の虞もあるため、これ以上の統合は困難である(選挙管理委員会会議で検討を行った)。 ・投票所のバリアフリーについては、事務従事者の人的介助が確保できるような動線により投票環境整備を行うこととした。
	なにが変わったか (取組による効果)	(平成27年度における具体的な投票所の再編やバリアフリー化は、なし)
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	投票率向上策について情報収集を継続する。 施設の改修に合わせ、施設所管部署にバリアフリー化を要請していく。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「図書館サービス体制の見直し」

整理No.

32

内容・目標

当初	実施事業や運営体制の見直しを行うとともに、ボランティアとの更なる連携等、市民との協働を推進する。		
修正	修正年度 (年度)	理由 内容	

実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標達成状況
当初計画	△◇	□	□○	◎	⇒	
修正(年度)						
実績	△					
進捗状況	予定未滿					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未滿、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】

27年度	なにをしたか (取組状況)	図書館の運営体制について指定管理者制度の適否を含めて見直しの検討をするよう、図書館協議会に諮問した。図書館ボランティアの育成について平成28年度以降の計画を作成した。なお、図書館協議会から、図書館の運営体制についての答申案を得たものの一部文言表現に修正が生じたため、進捗状況が予定未滿となった。
	なにが変わったか (取組による効果)	図書館の運営体制について、図書館協議会が視察や研修を含め5回にわたって審議・検討した。おはなし会ボランティア養成講座を開催し、新たに8名のおはなし会ボランティアを養成した。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	平成28年度上半期に図書館協議会から答申を得る。また、新たな図書館ボランティアとして、平成28年度にブックスタートと映画会のボランティアを養成する。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「公用車の効率的な運用」

整理No.

33

内容・目標						
当初	公用車の維持、管理、運行について、本市の実情に即した運用方法を研究し、経費削減及び事業の効率化を目指す。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	△◇○	⇒	⇒	⇒	⇒	
修正(年度)						
実績	△◇□○					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	出先機関の公用車で稼働率が低いものを試行的に庁用車両にし、共用車として当課で管理することとした。
	なにが変わったか (取組による効果)	試行の結果、出先機関の業務に支障がないことを確認したので、引続き共用車として使用することとした。これにより車両をより有効利用することができた。
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	引続き公用車の適正な配置を模索する。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「補助金、負担金等の見直し」

整理No.

34

内容・目標						
当初	補助金、負担金等の調査と問題点の抽出を行い、特に市単独の制度を中心に見直し、削減する。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費	56,254					56,254
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	⇒	△□	◎	⇒	⇒	
修正(年度)						
実績	⇒					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇ 方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	平成23年度の補助金等の見直しに係る評価結果を包括した「持続可能な財政構造確立のための集中的取組み」に掲げた取組項目について、当初予算編成時に実施状況を確認した。
	なにが変わったか (取組による効果)	「持続可能な財政構造確立のための集中的取組み」に掲げた取組項目のうち、平成27年度に新規に実施した項目は、見直しが1件、平成27年度をもって廃止したものが1件あった。
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	「持続可能な財政構造確立のための集中的取組み」に掲げた各取組項目について、取組期間終了までの間、実績調査を行い検証する。また、本取組みについては、取組期間終了後に総合評価を行うとともに、袖ヶ浦市補助金等に関する事務取扱規程に基づく、見直し時期や方法等について検討する。見直しを実施するまでの間については、社会経済情勢の変化に考慮しながら、個別対応により見直しを行ってしていくものとする。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「公民館の有効活用の検討」

整理No.

35

内容・目標						
当初	サービスの向上に向けて窓口業務委託を見直すなど、運営体制を検討をする。また、維持管理費の財源である使用料の見直しを定期的に実施する。建築後の期間経過とともに施設の老朽化が進行していることから、計画的に改修工事を実施し、長寿命化を図る。					
修正	修正年度 (年度)	理由				
		内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	△○	△◇	△□○	△◎	⇒	
修正(年度)						
実績	△○					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇ 方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	市民会館において平日昼間の窓口業務体制を、シルバー人材センターへの委託から臨時職員の直接雇用へ試験的に一部変更した。また、公民館の使用料について見直しの検討を行い、4月1日から使用料を改定した。事業の実施方法についての検討を行った。※使用料の増加に伴う歳入増加額(2,666千円)は、個票No29「受益者負担の適性化」の歳入増加額に含まれている。
	なにが変わったか (取組による効果)	直接雇用により、職員が直接業務指示や指導することができるようになった。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	直接雇用および雇用形態の相違による業務への支障がみられる。効果および問題点の洗い出しを行いながら、運営体制の検討を行う。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「学校施設の有効利用の検討」

整理No.

36

内容・目標						
当初	学校施設を関係各課・関係機関から要請のあった場合、有効活用できるかどうかについて検討し、学校と地域の連携促進を図る。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	推進
修正(年度)						
実績	⇒					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	余裕教室を活用した放課後児童クラブの運営について、中川小学校及び根形小学校と打合せを行った。
	なにが変わったか (取組による効果)	各小学校の教室の利用状況や、学校施設の有効利用に対する学校側の意見などを確認することができた。
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	余裕教室を活用した放課後児童クラブの運営の可能性について、詳細な検討・協議を行う。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「公共施設の移管(地区会館)」

整理No.

37

内容・目標						
当初	地区会館3館(奈良輪・高須・蔵波)の維持管理の見直しとして、指定管理者である奈良輪区・高須区・蔵波区への施設の移管について検討を行う。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	△□	△□◎	△□	△○	△□	
修正(年度)						
実績	△○					
進捗状況	予定以上					

※予定・実績 (△ 検討、◇ 方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未滿、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	奈良輪会館(建物)を奈良輪区に移管し、土地の管理を契約検査課に引き継いだ。
	なにが変わったか (取組による効果)	奈良輪会館の移管により、地域住民の利便性の向上と事務事業の効率化を図ることができた。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	地元区との協議を進める。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「国民健康保険特別会計の健全化」

整理No.

38

内容・目標						
当初	現在、市町村単位で運営されている国保事業は、国の広域化施策により平成30年度より県が財政運営主体になることが決定している。制度の概要は現時点では明らかになっていないが、当面、特別会計の健全化を目指し、健診受診率の向上等を図る。					
修正	修正年度	理由				
	(年度)	内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	◎	⇒	⇒			H27年度達成
修正(年度)						
実績	◎					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇ 方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	①医療費通知(4回)②ジェネリック医薬品を勧奨(差額通知(2回)、随時)③特定健康診査等受診勧奨(個別健診、集団健診)による重症化予防④特定健診受診者のデータ分析(データヘルス計画策定)、保健指導の実施⑤収納率の向上対策
	なにが変わったか (取組による効果)	国保財政の健全な経営に資することが出来た。データヘルス計画の策定により、詳細な分析ができたことにより、対象者を絞った重症化予防や特定健診の受診勧奨等の取組ができる。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	平成30年度からの広域化による国保制度改革の国、県の動向に注視しながら、引き続き医療費の抑制を図るとともに、按分率の見直しや特定財源の確保等に努め、健全なる経営を図りながら繰出金の削減を目指していく。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「袖ヶ浦市公共工事コスト削減行動計画の推進」

整理No.

39

内容・目標						
当初	コスト構造の改善、施設の長寿命化によるライフサイクルコスト構造、環境負荷の低減を継続するとともに、新たな視点に基づきわかりやすく広く浸透するような施策を提案し、より一層のコスト削減に努める。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費	59,390					59,390
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	推進
修正(年度)						
実績	⇒					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	設計積算業務等連絡会で指導するとともに、設計委託検査時にコスト削減の確認を行った。
	なにが変わったか (取組による効果)	職員一人ひとりに、コスト削減に対する意識を与えることができた。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	新規採用職員等若手職員にもコスト削減を意識しながら業務にあたるよう、指導・助言を行う。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「入札制度の見直し」

整理No.

40

内容・目標						
当初	公正・透明で競争性の高い入札制度を推進するため、制限付き一般競争入札の実施基準額の拡大を行う。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	△	◎	⇒	⇒	⇒	
修正(年度)						
実績	△					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	検討に必要な資料を作成し、実施基準額の対象額の方針を取り決めた。
	なにが変わったか (取組による効果)	県内各市町村の実施基準額を把握できたとともに、近隣市の実施基準額の見直し予定について確認することができた。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	取り決めた内容を入札制度検討部会へ付議するとともに、入札契約手続審査委員会へ報告を行う。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「定員管理の適正化」

整理No.

41

内容・目標						
当初	類似団体別職員数などとの比較による現状分析を行い、定員適正化計画を策定し、職員数の抑制に努める。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	◎	⇒	⇒	⇒	⇒	推進
修正(年度)						
実績	◎					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	「第2期定員適正化計画」の計画期間が平成27年度で終了するが、ひきつづき職員数の抑制に努めるため、平成28年4月1日からを計画期間とする「第3期定員適正化計画」を策定した。
	なにが変わったか (取組による効果)	事務事業の見直しや業務の委託化などにより、庁内全体で職員数の抑制に取り組む体制が整った。
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	計画に基づいて引き続き定員の抑制に努め、平成31年4月1日現在の職員数を628人以内とする。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「給与等の適正化」

整理No.

42

内容・目標						
当初	市民の理解が得られるように給与の制度・運用の適正化を推進する。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	推進
修正(年度)						
実績	⇒					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	国の人事院及び県人事委員会の勧告を基本に、地域手当支給率を2%引き上げ、それとともに各職員の給料額を2.8%削減するなど、職員給与制度の改正を行った。
	なにが変わったか (取組による効果)	国家公務員の給与との均衡を考慮した改正を行い、人件費の適正化に努めた。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	今後も国の人事院及び県人事委員会の勧告を念頭に、職員給与制度の見直しや、ラスパイレス指数等の指標を参考としながら、職員給料の適正化に努める。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「維持管理費の縮減」

整理No.

43

内容・目標						
当初	施設修繕整備年次計画に基づき、施設修繕を実施することにより施設本体の長寿命化を図りながら、適正な運転管理を行い維持管理費の縮減に努める。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費	0					0
(B)削減経費	9,742					9,742
(C)歳入増加額	0					0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
修正(年度)						
実績						
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	老朽化した蔵波浄水場の休止にあたり、末端配水区の水圧不足を解消するため増圧ポンプ施設を設置し、平成28年1月12日に蔵波浄水場を休止した。また、配水量の少なく、他の水系から流入可能な川原井浄水場において、施設を平成28年3月31日に休止を行った。
	なにが変わったか (取組による効果)	比較的規模の小さい蔵波浄水場と川原井浄水場を休止することにより、今後の運転管理等の維持管理費の削減を図った。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	袖ヶ浦市水道事業施設整備計画に基づき、定期的な修繕・更新を行うことにより、施設本体の長寿命化を図りながら維持管理費の縮減に努める。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「有収率の向上」

整理No.

44

内容・目標						
当初	有収率向上のため老朽管更新と漏水調査を実施する。老朽管更新する配管材料を水道配水用ポリエチレン管の採用により工事費の縮減を図る。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費	0					0
(B)削減経費	1,922					1,922
(C)歳入増加額	0					0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
修正(年度)						
実績						
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	老朽管更新工事を約5.5km実施し、自然漏水への迅速な対応を図り、また配水管41.1km、給水管916箇所での漏水調査を行った。
	なにが変わったか (取組による効果)	配水管が約5.5km更新され、漏水調査の結果、17カ所発見し迅速に漏水修理を行い、不明水量を減少することができた。有収率については、91.36%となり、前年度を0.8ポイント上回った。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	引き続き、老朽管の更新や漏水調査を実施し有収率の向上を図る。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「使用料金の適正化」

整理No.

45

内容・目標						
当初	給水収益が伸び悩む中、支出は、これまで老朽管更新・施設改修等を率先して行ってきたことにより、減価償却費及び企業債元利償還金が年々増加する状況にある。経営の健全化を図るため、定期的に使用料金の見直しを進めて行く。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費	0					0
(B)削減経費	0					0
(C)歳入増加額	0					0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	⇒	⇒	△◇	□	□◎	
修正(年度)						
実績	⇒					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇ 方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	第3次中期経営計画(平成27年度～平成30年度)に基づき、経費節減と健全経営に努めた。
	なにが変わったか (取組による効果)	給水収益は第3次中期経営計画の平成27年度末計画値を下回った。一方で、蔵波台周辺や袖ヶ浦駅海側の宅地開発に伴う加入金の増加と経費削減に努めたことにより、平成27年度末の補てん財源は、計画値を上回ったことから現行の水道料金を維持していくこととした。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	事務事業の効率化を図り、計画期間中に、君津広域水道企業団からの受水費改定などが生じた場合には、必要に応じて料金見直しを検討する。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「一般会計からの繰入金の抑制」

整理No.

46

内容・目標						
当初	水道事業会計は、独立採算が原則であることから、繰入金に過度に頼らない経営体質の強化を図るため、君津地域4市水道事業と用水事業との統合広域化の検討協議を進め、平成28年中の基本協定締結、その後の統合を目指す。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	△□	⇒◇	□	⇒	⇒	
修正(年度)						
実績	△□					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇ 方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	君津地域水道事業統合協議会を軸に、各専門委員会6回、幹事会4回、協議会3回開催、統合に向けての課題整理、検証・検討、出資金の調整等に取り組んだ。
	なにが変わったか (取組による効果)	平成28年3月策定としていた基本計画を、交付金枠が変更されたことに伴い、2か年の検討成果として取りまとめた。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	引き続き関係団体との協議を重ね、施設整備計画や事業費の見直し、他の交付金メニューの活用検討、財政シミュレーションのやり直し等を早急に行い、基本計画の一部修正での実施可否を検証する。当面は、当初の目標どおり平成28年中の基本協定締結を目指す。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「維持管理費の縮減」(公共下水)

整理No. 47

内容・目標						
当初	供用開始30年が経過し、施設の老朽化に伴い維持管理費の増加は避けられない状況である。包括的維持管理委託の導入や処理場長寿命化計画の実施により削減してきたところであるが、引き続き維持管理費の削減を図る。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費	●●●●●●	●●●●●●	●●●●●●	●●●●●●	●●●●●●	●●●●●●
(B)削減経費	4,195	●●●●●●	●●●●●●	●●●●●●	●●●●●●	4,195
(C)歳入増加額	●●●●●●	●●●●●●	●●●●●●	●●●●●●	●●●●●●	●●●●●●

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	△□○	⇒	⇒	⇒	⇒	推進
修正(年度)						
実績	△□○					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇ 方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)
 ※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	・袖ヶ浦終末処理場等の施設における維持管理業務について、包括的民間委託を導入した。(継続) ・施設の長寿命化計画に基づく、水処理施設の改修を実施した。
	なにが変わったか (取組による効果)	・包括的民間委託を活かし、早期に施設の不良箇所を処置したことで、維持管理費が削減された。 ・老朽化した施設の計画的な改修が行われたことから、施設の延命化が図られた。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	包括的民間委託導入1期目の状況を踏まえ、より効率的な維持管理に努める。 特に、電気料金を抑えた運転方法や、汚泥脱水機の機種変更等により汚泥処理量の削減などについて検討する。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「水洗化率の向上」(公共下水)

整理No.

48

内容・目標						
当初	下水道接続者を増加させることにより有収水量の確保及び使用料収入の増加を図るとともに周辺環境の向上に繋げる。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額	586					586

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	推進
修正(年度)						
実績	⇒					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	未接続世帯へ個別訪問により接続交渉を行い、接続できない方には未接続理由を聴取した。また、公民館祭りにあわせ水洗化のPRを行った。
	なにが変わったか (取組による効果)	平成27年度末の水洗化率は96.4%となり、前年度より0.1%増加した。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	今後も未接続世帯への個別訪問を実施していく。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「使用料金の適正化」(公共下水)

整理No.

49

内容・目標						
当初	維持管理費及び資本費の一部を使用料金でまかなうべく、定期的に使用料の見直しを進める。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	△◇	○	⇒	⇒	⇒△◇	
修正(年度)						
実績	△◇					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	下水道使用料については、平成23年度の改定の際の検討期間が23年度から26年度の4年間であったため、料金改定についての検討を行った。
	なにが変わったか (取組による効果)	維持管理費及び資本費の利子および元金の一部を賄っている状況であるため、料金改定の見送りを決定した。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	平成30年度に再度分析、検討を行うこととする。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「一般会計からの繰入金の抑制」(公共下水)

整理No.

50

内容・目標						
当初	歳出削減を図りながら、特定財源の確保に努め一般会計からの繰入金を抑制する。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	△◎	⇒	⇒	△	△◇	推進
修正(年度)						
実績	△◎					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	・特定財源の確保に努めた。 ・下水道使用料の徴収の強化に努めた。(差押件数8件、28,825円)
	なにが変わったか (取組による効果)	基準外繰入の額は増額となったが、基準内と合わせた一般会計繰入金の総額は減額できた。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	引き続き下水道使用料等の特定財源の確保に努めるとともに、維持管理費の縮減や実施事業の見極めを行い歳出の削減を目指す。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「維持管理費の縮減」(農集排)

整理No.

51

内容・目標						
当初	処理場及び管渠施設について、適切な維持管理に努める。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	○	◎	⇒	⇒	⇒	
修正(年度)						
実績	○					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇ 方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	包括的民間委託を試行した。処理水の性質の変位にあわせた調整運転を実施し放流水質を管理し、水質保全や節電に寄与した。
	なにが変わったか (取組による効果)	事務の簡略化、維持管理については民間の裁量が大きくなるようになり、効率化が図れた。
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	維持管理費の削減の検討及び継続的に民間経営のノウハウを利用した包括的民間委託を充実させる。また老朽化に伴う修繕費に対し、国の補助金を活用を図りながら、設備の延命に尽力する。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「水洗化率の向上」(農集排)

整理No.

52

内容・目標						
当初	農業集落排水接続者を増加させることにより有収水量の確保及び使用料収入の増加を図るとともに、周辺環境の向上に繋げる。					
修正	修正年度 (年度)	理由				
		内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額	694					694

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
修正(年度)						
実績	⇒					
進捗状況	予定通り					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	東部・松川・平岡地区の未接続の事業加入者へ、郵送及び戸別訪問にて水洗化PRを実施した。
	なにが変わったか (取組による効果)	東部地区(1件)、松川地区(2件)、平岡地区(139件)の接続があった。水洗化率については、東部地区が89.6%、松川地区が84.5%、平岡地区が63.6%となった。
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	東部・松川・平岡地区の未接続の事業加入者への水洗化PRを強化する。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「使用料金の適正化」(農集排)

整理No.

53

内容・目標						
当初	維持管理費及び資本費の一部を使用料金でまかなうべく、定期的に使用料の見直しを進めていきます。					
修正	修正年度 (年度)	理由				
		内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	△◇	○	⇒	⇒	⇒△◇	
修正(年度)						
実績	△◇					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	農業集落排水使用料の料金体系の検証を行い、接続率の向上を目指すべく、管渠整備計画を1年前倒して施工することとした。
	なにが変わったか (取組による効果)	平岡地区の整備が1年繰り上げて完成となり、供用開始区域が広がったことから、まずは、接続率の増加を図ることに重点を置き、その後に料金改定の検討を行うこととした。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	接続率の更なる向上を図ることで料金収入を向上し、自主財源を安定させるとともに、維持管理費の施設修繕費等の削減に努める。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「一般会計からの繰入金の抑制」(農集排)

整理No.

54

内容・目標						
当初	歳出削減を図りながら、特定財源の確保に努め一般会計からの繰入金を抑制する。					
修正	修正年度 (年度)	理由 内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	□	□	◎	⇒	⇒	
修正(年度)						
実績	□○					
進捗状況	予定以上					

※予定・実績 (△ 検討、◇ 方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未滿、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27 年度	なにをしたか (取組状況)	接続率の向上のためのPRとともに、平岡地区の建設改良事業の前倒し実施を行った。
	なにが変わったか (取組による効果)	接続率が2.0%向上した。また、平岡地区建設改良事業の前倒しにより、平成28年度以降の人件費繰入金について削減が図られた。
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	接続率の向上による使用料収入の向上と、維持管理費の施設修繕費等の削減に努める。
28 年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	
29 年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	
30 年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	
31 年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか <small>(問題点及び今後の方向性等)</small>	

推進項目別個票

○取り組みの実績

「土地開発公社の経営の健全化」

整理No.

55

内容・目標						
当初	市の買戻しが見込まれていない長期保有地について、有効な活用方法や民間への売却等を検討・実施し、健全な経営を持続していく。					
修正	修正年度 (年度)	理由				
		内容				
実施効果額等(単位:千円)						
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	計
(A)経費						0
(B)削減経費						0
(C)歳入増加額						0

実施スケジュール【Plan(計画)】						目標達成状況
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
当初計画	△◇□	△○	⇒	⇒	⇒	
修正(年度)						
実績	△◇□					
進捗状況	予定どおり					

※予定・実績 (△ 検討、◇方針決定、□ 準備、○ 試行・一部実施、◎ 完全実施、⇒ 継続)

※進捗状況 (予定どおり、予定以上、予定未満、内容見直し、手段見直し、実施期間見直し、取り止め)

活動実績と今後【Do(何をしたか)、Check(何が変わったか)・Action(今後どうするか)】		
27年度	なにをしたか (取組状況)	自治会への無償貸付を1件行った(野里914番1)。
	なにが変わったか (取組による効果)	貸付する土地の管理経費を借主の負担で行うこととし、土地開発公社の管理経費の支出を抑制した。
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	長期保有地は需要の見込めない土地であるが、効果的な売却処分の方法がないか検討する。
28年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
29年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
30年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	
31年度	なにをしたか (取組状況)	
	なにが変わったか (取組による効果)	
	今後どうするか (問題点及び今後の方向性等)	